

小さなことの積み上げが経営のメリットに！
毎日の仕事にGAP手法を取り入れよう

生産現場に害虫・害鳥・害獣 は入り込んでいませんか？

胆振農業改良普及センター

生産現場に虫・鳥・獣など有害生物が入り込む危険性はないでしょうか？今回は野生動物の危険性と侵入防止策を検討してみましょう。

【野生動物の保菌状況】

表1は牛舎や周辺で採取した野生動物のサルモネラ保菌状況です。この調査ではアライグマ、カラス、キツネに菌が見られ、菌は腸内・糞以外に足の表面からも検出されました。

表1 野生動物のサルモネラの保菌状況

	調査数 (個体・糞)	陽性 検出数	陽性率 (%)
ネズミ類	269	0	0
キタキツネ	21	2	9.5
アライグマ	230	14	6.1
カラス	278	15	5.4
ドバト	5	0	0
スズメ	54	0	0

※道総研畜産試験場2008～2011年調査資料より抜粋改変

つまり、

この調査ではスズメやネズミからの検出は見られませんが、あらゆる野生動物の体表に菌が付着し、生産現場に運搬する可能性は十二分に考えられます。

施設に有害生物を侵入・生息させない工夫

【物理的に侵入・接触を防ぐ】

- ・開口部に網戸・ネットを張る(写真1、2)
- ・止まれる場所、巣を作れる場所を塞ぐ
- ・エサとなる残渣・ゴミ類を放置しない
- ・資材の床直置きを避ける
- ・機材などは必要に応じカバー(布等)をかける



窓に自作網戸設置(写真1)



天井にネットを張り、鳥類の侵入防止(写真2)

【ワナを仕掛ける】

- ・粘着シートでの虫・ネズミの捕獲(写真3)
- ・キツネやアライグマは各市町毎の鳥獣被害防止計画に沿った対応が必要なことから、市町村に相談し、可能な対策の実施(箱ワナなど)



ハエの絵柄が印刷されている粘着シート(写真3)